

平成25年第12回県教育委員会会議

報告事項(6)

生涯学習振興課

1 報告事項

「新県立図書館施設整備の方向性」について(答申)

2 事項の説明

1. 答申に至る経緯

(1)平成25年7月16日

新県立図書館基本構想検討委員会(県立図書館内視察、全体会)

(2)平成25年7月24日～8月6日

全委員が、施設候補地を視察

(3)平成25年7月29日

委員の勉強会

(4)平成25年8月2日

委員の勉強会

(5)平成25年8月9日

委員の勉強会

(6)平成25年8月13日

新県立図書館基本構想検討委員会(全体会)

(7)平成25年8月14日

委員の勉強会

(8)平成25年8月15日

新県立図書館基本構想検討委員会委員長、副委員長から県教育長へ答申書を手交

2. 答申の概要

(1)施設整備の方向性について

県立図書館の現在の建物は、施設や設備の老朽化、狭隘化が著しく、書架増設や図書の保管に支障が出ているとともに、駐車スペースの確保等の課題がある。

一方、近年の私たちの社会環境は、高度情報化や少子高齢化社会の到来により大きな変化に直面している。また、海洋島しょ県である本県の特殊性等から、以下のようなニーズが確認できる。

- ①情報資源の蓄積、保存、提供及び県民の情報リテラシーへの支援
- ②印刷媒体に加え、電子媒体やネットワーク情報資源の提供の必要性
- ③生涯学習意欲の高まりに応じた情報ニーズの多様化
- ④子どもの読書活動の推進に向けた支援の必要性
- ⑤全県域を網羅した図書館サービスの充実、利便性向上
- ⑥図書館機能の国際化への対応

こうした社会動向の変化や県民ニーズの多様化、沖縄県の特殊性を踏まえ、県立図書館には施設そのものの整備に加え、図書館サービスの内容等の質的な転換が求められているといえる。

以上のことから、県立図書館を県民にとって利便性の高い施設とするためには、時代のニーズに対応した図書館サービスに資する機能を付加した、新たな施設を整備する必要がある。

(2)整備場所について

敷地選定については、候補地6箇所について評価し、以下のとおり優先順位を決定した。

順位	地区名
1位	那覇バスターミナル地区
2位	JICA沖縄隣接地
3位	旧運転免許試験場跡地
4位	現有地
5位	県家畜衛生試験場敷地
6位	旧赤十字病院跡地

(3)その他、新県立図書館基本構想に関すること

1)新県立図書館の目標像

新県立図書館の目標像(コンセプト)
琉球・沖縄の「知と心 文化創造のランドマーク」

【新県立図書館に期待する3つの方向性】

「県民の主体性」「機能やサービスの多様性」「知識や文化の創造性」

【基本方針】

- ①県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える図書館
- ②琉球・沖縄の知識や文化継承・発展の中核となる誇りうる図書館
- ③地域や県民の課題解決を支援する図書館
- ④「アジアの中の沖縄」としての国際色豊かな図書館
- ⑤雇用・就業・ビジネスを支援する図書館
- ⑥地域のセーフティネットの役割を果たす図書館
- ⑦進化型、持続可能な施設の図書館

2)蔵書計画

200万冊程度の収蔵能力を備えた施設を整備することを目標とする。

3)施設規模

新県立図書館の施設規模は、15,000平米とすることが望まれる。